

1 西町商店街組合員の現状 第1期商店街活性化計画（H17年）から現在（H21年4月末）までの変化

- 組合員数が8店舗増加し、106軒となった。
- ・飲食店が8軒増加した。
- ・逆に、小売業で、家庭用品が3軒、飲食料品が2軒それぞれ減少した。
- ・飲食店の構成比が上がった。

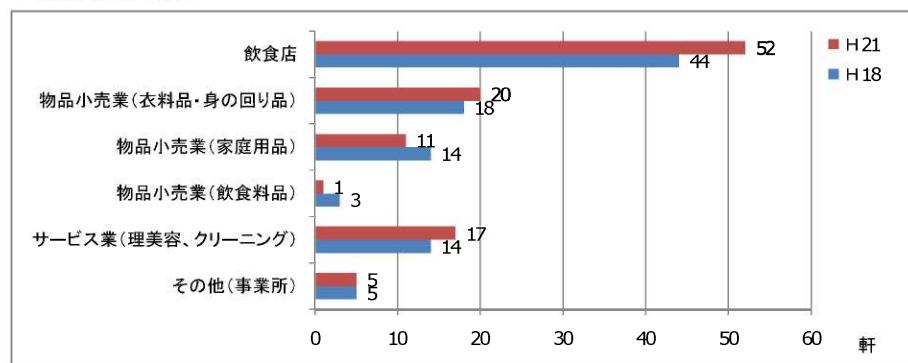
(1) 西町商店街組合員数の変化

	H18年	H21年
組合員数	98軒	106軒
賛助会員数	16軒	15軒
合計	114軒	121軒

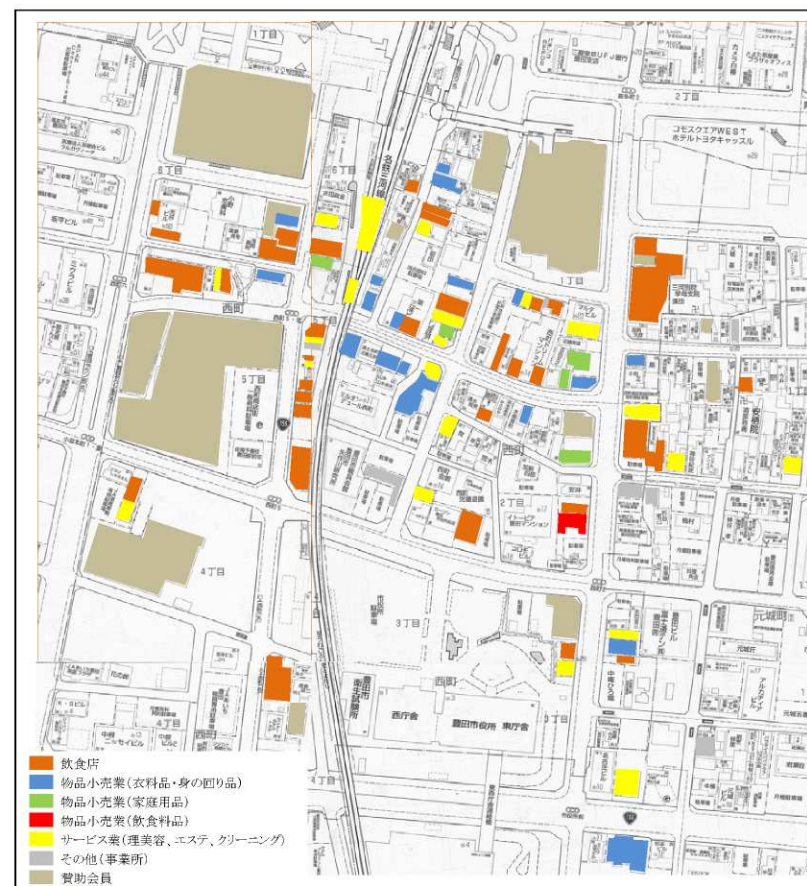
(2) 業種別組合員数

	H18年		H21年		H21/H18比	
	組合員数	構成比	組合員数	構成比	増減数	増減率
飲食店	44軒	45.1%	52軒	49.1%	8軒	118.2%
物品小売業(衣料品・身の回り品)	18軒	18.6%	20軒	18.9%	2軒	111.1%
物品小売業(家庭用品)	14軒	14.7%	11軒	10.3%	-3軒	78.6%
物品小売業(飲食料品)	3軒	2.9%	1軒	0.9%	-2軒	33.3%
サービス業(理美容、クリーニング)	14軒	13.7%	17軒	16.0%	3軒	121.4%
その他(事業所)	5軒	4.9%	5軒	4.7%	0軒	100.0%
合計	98軒	100.0%	106軒	100.0%	8軒	108.2%

◆業種別店舗の推移

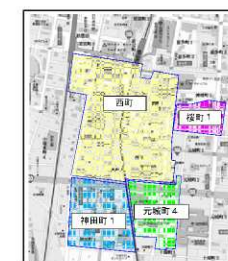


(3) 西町商店街組合員位置図



(4) 西町商店街範囲

西町、桜町1丁目、神田町1丁目、元城町4丁目



2 第1期 西町商店街活性化計画の取組状況

(1) 第1期商店街活性化計画の基本方針

西町商店街の位置づけ

豊田市の中心部にあり、約100店舗の加盟がある豊田市最大の商店街。将来に向けて、規模・力を維持していく。  
安全安心で暮らしやすいまちづくりや高齢者からこどもまでの三世代コミュニティ創出を自治区と共働し、地域力を高めることに貢献

西町商店街活性化の基本方針

心の豊かさ、ふれあいを感じる繁華街＝躍動感ある西町商店街

- もっと美しい、
- もっと楽しい、
- もっと知性、好奇心がドキドキする、
- もっと生き活きする・・・

魅力づくりの考え方

1 商業集積の構築、通りごとの活性化

- ・ 核となる商業集積をつくる
- ・ 通りごとにストーリー性（テーマ）を設定する  
「点（個店）から線（通り）」→「線（通り）から面（街区）」の発想  
(飲食店ストリート、若者ストリート、フラワーロード)

2 個店、商店街の魅力化

- ・ 業種別の販促企画による情報発信
- ・ イルミネーションなど集客イベントの実施
- 2 駅周辺を集客施設と連動した販促企画・情報発信
- ・ 一店逸品運動の取り組み
- ・ 業態転換経営革新の検討や取り扱い商品の見直し
- ・ 新規業種・業態や店舗の導入

3 地域と一体になった商店街づくり

- ・ 子供から高齢者まで安全、安心に暮らせるまち  
づくりに貢献
- ・ 自治区と共同の花飾り活動
- ・ 防犯カメラ、AED、街路灯の維持・運営



2 第1期西町商店街活性化計画の取組状況

(2) 商店街活性化計画事業の成果

目標 個店、商店街の魅力化

事業名「業態転換や取扱商品の見直し(業態転換・経営革新事業)」

実績 2店舗が経営革新事業を行った。うち1店舗は店主の世代交代も行われた。



夜の居酒屋→昼・夜営業の割烹に経営革新した店主の世代交代が行われた  
豊田市ががんばる商店街制度を活用



クリーニング店  
→コインランドリー併設の店舗に経営革新した  
豊田市ががんばる商店街制度を活用

事業名「1、2階スペースの店舗化促進(空き店舗対策事業)」

実績 1店舗の空き店舗が解消。現在、もう1店舗申請中。



飲食店が開店  
豊田市ががんばる商店街制度を活用



飲食店が開店  
豊田市ががんばる商店街制度を活用

事業名「商店街ブランドの強化(西町ワインに次ぐ商店街商品の開発)」

実績 オリジナルキャラクターやオリジナル商品を企画、制作した。



「西町」の文字を人型にデザインしたオリジナルキャラクターを考案



西町ワインの素材を活かしたブドウジュースを製品化した



オリジナルキャラクターを入れたエコバックを作成した

目標 地域と一体になった商店街づくり

事業名「防犯カメラの増設」

実績 H18年4器設置予定→20器設置した 計28器(H16:5器、H17:3器、H18年:20器)



事業名「AEDの設置」実績 H18年に3器設置した。



参合館南



緑陰歩道



西町会館

事業名「商店街地域住民共同活動」実績 季節の風物詩の演出、フラッグの掲示を行った



夏のおいでまつりの合わせて、行灯を設置し、夏の風物詩の定着を図る



オリジナルキャラクターを入れたフラッグを掲示 季節ごとにかけ替える

## 2 第1期西町商店街活性化計画の取組状況

## (3) 商店街活性化計画事業の実施状況一覧

◎満足できる内容である ○ほぼ満足できる内容である △実施したが計画に届かず、見直し必要 ×取組み至らず

	事業名	内容	実施	実施状況
商業集積の構築	① 飲食店ストリートの構築	名鉄高架下、緑陰歩道を活用した、飲食店の集積の構築	×	検討中
	② ヤングカジュアルストリートの構築	ヤングファッション・雑貨の店舗導入により、ヤングカジュアル店舗の商業集積構築	△	チャレンジショップ独立者や新規創業者が自然発生的に増加
	③ フラワーロードの構築	沿線・店舗に花飾り・フラワーポットを設置し、季節感・歩く楽しさを演出する	○	緑陰歩道、小坂西町線で実施
	④ 文化山車蔵の道の構築	まちの資源を活かし、通りの整備と文化の発信事業の展開	×	商店街単独での実施は難しい。自治区の耐震補強や会館建て替え等と連動する必要あり
個店、商店街の魅力化	⑤ 業種別の販促企画による情報発信	・飲食店クーポン ・フードイベント(忘年会、フェア) ・店主企画・ファッション企画	×	第2期活性化計画事業で取り組む予定
	⑥ 施設やイベントと連動した情報発信	・コンサートHや大型店とのタイアップ ・フレフェス、イルミネーションとの連動企画 ・ばるナビの今後の方向性を検討	△	商店街IPを一新した
	⑦ 集客イベントの実施	・ふれあいフェスタの連動イベント ・産業フェスタの連動イベント ・イルミネーション・年末大売出し	○	計画通り実施
	⑧ 業態転換や取扱商品の見直し(業態転換・経営革新事業)	・業態転換・経営革新店舗の輩出 ・店舗改装の検討	○	2店舗実施
	⑨ 1.2階スペースの店舗化促進(空き店舗対策事業)	・新規業種・業態の導入 ・空き店舗の活用 ・空き店舗情報のシステム化	○	豊田市ががんばる商店街を活用し1店舗実施済みで、現在1店舗申請中。
	⑩ 一店逸品運動の取り組み	・(既存)逸品研究会への参加	△	一店逸品研究会に1店舗参加
	⑪ 商店街ブランドの強化	西町ワインに次ぐ商店街商品の開発	◎	西町ジュースキャラクター、「西町くん」を活用したエコバックやフラッグを製作
地域と一体になった商店街づくり	⑫ 防犯カメラの増設	・19年度からの設置計画作成 ・計画にもとづく防犯カメラの増設(H.16:5台、H.17:3台、H.18:4台)	◎	計画どおり増設し、自治区・商店街・市当局からも評価が高い
	⑬ AEDの設置	商店街通り・施設にAEDの設置を検討	◎	計画どおり増設し、自治区・商店街・市当局からも評価が高い
	⑭ こども110番協力店への参加促進	・警察・自治区と協力した「こども110番」の展開 ・イメージポスターなど作成	△	市商連の「こども110番」に参画
	⑮ 商店街地域住民共同活動	・一店一鉢花飾り運動 ・季節の風物詩の演出 ・フラッグ事業	◎	夏の風物詩として、「ひるあんどんけったくりん」を年1回(×2年)延2回実施
	⑯ 地域通貨の取り組み	・スキーム、エリア、特徴(エコなど)、事業骨子の検討 ・事業プラン作成⇒検証	×	第1期では事業費の予算確保が難しかった。市商連事業等他団体との共同取り組みがあれば、今後検討したい。
	⑰ 雨の日の傘貸し出し	・商店街名入り傘をつくり各店に設置	×	コスト高、商店街事業費と折り合いつかず。



3 西町商店街の現状の課題と目標達成状況

(1) 第1期活性化計画の成果を踏まえた現状の課題

**①歩行者通行量** 調査月 H17年12月  
H20年10月

- ・総体的に歩行者通行量は減少している。
- ・特に、昭和町線の通行量の減少が大きい。

《休日》

調査地点	H20年	H17.12	増減数	増減率
国道155号(松坂屋前の両側歩道)	2,805	3,025	-220	92.7%
緑陰歩道(まんが喫茶前)	1,072	840	232	127.6%
薬師線(居酒屋だるま前の両側歩道)	1,615	1,471	144	109.8%
昭和町線(めいぶる薬局前の両側歩道)	1,221	1,571	-350	77.7%
合計	6,713	6,907	-194	97.2%

《平日》

調査地点	H20年	H17年	増減数	増減率
国道155号(松坂屋前の両側歩道)	2,792	3,142	-350	88.9%
緑陰歩道(まんが喫茶前)	2,170	2,298	-128	94.4%
薬師線(居酒屋だるま前の両側歩道)	3,084	3,289	-205	93.8%
昭和町線(めいぶる薬局前の両側歩道)	2,262	2,609	-347	86.7%
合計	10,308	11,338	-1,030	90.9%

**②商店街組合員数**

- ・商店街組合員数は増加している。

	H21年	H18年	増減数	増減率
組合員数	106軒	98軒	8軒	108.2%
賛助会員数	15軒	16軒	1軒	93.8%
合計	121軒	114軒	7軒	106.1%

**③第1期活性化計画事業は約7割実施し、特に防犯カメラ・AEDは充実した。**

- ・第1期活性化計画では、17事業を計画し、12事業が実施に至った。(約7割)
- ・取組に至らなかった事業については、商店街単独では難しい事業もあった。
- ・駐車場、防犯カメラ、AED、街路灯など商店街のハード事業は充実した。、地域住民や警察、市から評価が高い。
- ・経営革新を2店舗、空き店舗の解消を1店舗行った。
- ・従来の冬のイルミネーションに加え、夏に行灯を始めた。

◆3頁事業の実施状況のまとめ

目標	計画数	実施満足	見直必要	取組至らず
商業集積の構築	4事業	1事業	1事業	2事業
個店、商店街の魅力化	7事業	4事業	2事業	1事業
地域と一体になった商店街づくり	6事業	3事業	1事業	2事業
合計	17事業	8事業	4事業	5事業

**④従来より、季節ごとにメリハリのある催しやイベント、景観装飾を行っている。**

- ・春ーふれ愛フェスタ、夏ー自治区まつりの参加、秋ー産業フェスタ協力、冬ー抽選会と、年4回大きな催しを行っている。
- ・夏は行灯、冬はイルミネーションを行っている。
- ・季節に合わせて、緑陰歩道の花の植え替えやフラッグのかけ替えを行っている。



(2) 目標達成状況

目標内容(第1期 項目)	指 標(第1期商店街活性化計画目標)	達成状況(H20年度)
①歩行者通行量を増やす	H17年 7地点調査 休日:6,907人/平日:11,338人を10%増加	休日:6,713人/平日:10,308人 (目標比 休日:97.2%/平日:90.0%)
②西町商店街の組合員を増やす	H18年9月1日現在 98店舗→110店舗	106店舗(目標比 96.4%)
③駐車場利用者数を増やす	H17年度認証数58,749件を150%の認証数に増加	71,427件(目標比 121.6%)
④業態転換(経営革新)店舗を輩出する	5店舗を輩出	3店舗(経営革新2店/空き店舗1店 目標比60.0%)
⑤商店街売上拡大	H17年商店街組合員アンケート調査結果より 売上の伸び悩み構成比17.9%を15.0%に引き下げる	トヨタショックによる景気悪化の影響度合いを含め 組合員アンケート調査中

4 第2期 西町商店街活性化計画の基本方針

(1) 第2期活性化計画の方向性

●考え方は第1期西町商店街活性化計画を踏襲する。

**魅力づくりの考え方**

<p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">商業集積の構築、通りごとの活性化</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 2em;">1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・核となる商業集積をつくる</li> <li>・通りごとにストーリー性（テーマ）を設定する</li> </ul> <p style="font-size: 0.8em;">「点(個店)から線(通り)」→「線(通り)から面(街区)」の発想 (飲食店ストリート、若者ストリート、フラワーロード)</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">個店、商店街の魅力化</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 2em;">2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・催し物や情報発信により集客増を目指し、個店の売上拡大に寄与する</li> <li>・勉強会や研修の開催</li> <li>・業態転換経営革新の検討や取り扱い商品の見直し</li> <li>・新規業種・業態や店舗の導入</li> </ul>	<p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">地域と一体になった商店街づくり</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 2em;">3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供から高齢者まで安全、安心に暮らせるまちづくりに貢献</li> <li>・自治区と共同の花飾りなど環境改善活動</li> <li>・防犯カメラ、AED、街路灯、駐車場の維持・運営</li> </ul>
---	--	---

**第2期商店街活性化計画事業は、第1期の事業を基本にし、精査した取り組みとする。**

- ・駐車場、防犯カメラ、AED、街路灯など商店街のハード事業は充実しており、地域住民や警察、市から評価が高い。これらのハード事業については、今後、運営や維持管理が必要である。
- ・これまで行っている季節ごとの催し物を、集客、個店の売上に貢献できるような取り組みにする必要がある。

(2) 第2期活性化計画の取組ポイント

第2期は

個店、商店街の魅力化

をポイントに取り組む

- 商店街活用や個店の情報発信に取り組む
  - ・商店街のハード事業や催し物など取組内容について組合員や消費者に広く情報発信し、商店街の認知度を高める。
  - ・個店の情報発信に努め、個店の売り上げや認知度を高めることに努める。
- 個店の魅力化に努める取り組みとする。
  - ・消費の厳しい状況であるが、個店の魅力を上げることは最も重要なことである。市や中心市街地活性化協議会、会議所等と連携して、支援制度の活用などを個々の店舗の状況に合わせ行う。
  - ・同業種間の情報交換や意見交換、異業種間の情報・意見交換など、商店街内のみならず他地域と積極的に行うことに努める。
- 商店街活動を維持するために、若手の育成、導入に努める必要がある。
  - ・店主の高齢化等により、廃業→閉店の懸念がある。“空き店舗にしない”“新しい店舗の誘致”を積極的に行う必要がある。

(3) 目標数値

目標内容(第1期 項目)	指 標	第1期活性化計画目標達成状況(H20年度)	第2期活性化計画目標数値(H23年度)
①歩行者通行量を増やす	H17年 7地点調査 休日:6,907人/平日:11,338人を10%増加	休日:6,713人/平日:10,308人 (目標比 休日:97.2%/平日:90.0%)	休日:7,000人/平日:11,000人
②西町商店街の組合員を増やす	H18年9月1日現在 98店舗→110店舗	106店舗(目標比 96.4%)	110店舗
③駐車場利用者数を増やす	F.P.、H17年度認証数58,749件を150%の認証数に増加	71,427件(目標比 121.6%)	71,000件(H20年度維持)
④業態転換(経営革新)店舗を輩出する	5店舗を輩出	3店舗(経営革新2店/空き店舗1店 目標比60.0%)	2店舗を輩出



5 事業計画

(1) 第2期商店街活性化計画でポイントとなる取組

目標 個店、商店街の魅力化

① 商店街全体の情報発信

■ 商店街の定期情報紙の発行を検討する

■ 情報発信ビジョンの設置



商店街組合員店舗、催し物、防犯等地域情報などを定期的に情報発信する。

② 勉強会、研修会等の開催

- ・同業種や異業種など、それぞれ勉強会や意見交換会を開催し、情報発信や販売促進企画の検討を行う。
- ・専門家の招へいや他地域商店街視察を行い、将来の商店街活動や個店経営の参考とする。
- ・組合員個別相談会やアンケート調査により組合員の状況把握を行い、支援・協力を行う。



活性化計画説明会の様子



視察の様子

② 業種別の情報発信や販売促進企画

■ 西町商店街飲食店イベントの実施を検討

■ 業種別の情報発信を検討する

おとなのイベント「はしご酒大会」

飲んで まわって ハワイを当てよう！



金賞 ハワイ旅行ペア5日間 1本  
銀賞 豪華デザートデザートペア 宿泊券 1本  
金賞 県内有名温泉ペア宿泊券 2本  
ファミリー賞  
名産トヨタホテル、ホテルトヨタキャッスル  
ディナー券 10本  
その他豪華景品多数あり！！

主催 西町商店街活性化協同組合  
協力 西町商店街活性化協同組合  
日時 毎月 日( )  
受付開始/PM6:00 スタート/PM7:00  
抽選会/PM8:30  
場所 西町商店街内 参加前  
参加 ■抽選券2,500円 ■当日3,000円

【実施内容】  
●抽選券をPM6:30にスタートして、決められた飲食店のうちから抽選券の番号に当てはまるまで抽選して楽しめる。  
●抽選券はスタンプ集めに1枚につき1枚抽選してもらい、ドリンク券を1枚につき1枚抽選してもらう。  
●スタンプ5個で抽選に参加できる。

[飲食店企画は、飲食店ストリート構築事業のソフト事業と位置づける。]



商店街で最も構成比の高い業種である「飲食店」をモデルケースに検討する。

その他検討例

- ・若手店主企画のイベント、情報発信
- ・ファッション(衣料品、理美容、エステ)企画

目標 地域と一体となった商店街づくり

- ① 防犯カメラの維持管理
- ② AEDの維持管理
- ③ 街路灯の維持管理
- ④ 駐車場利用促進、維持管理

商店街のみならず、地域の防犯、安全な生活に寄与する取組みである。第1期活性化事業で実施したこれらのハード事業を、今後、維持管理していく必要がある。

⑤ 商店街地域住民共同活動

- ・「花飾り活動」「行灯事業」「冬のイルミネーション」は、商店街だけで、今後も継続していくことが難しい。地域環境改善にもつながるので、自治区等地域の様々な団体の参画を募り、サポーターづくりを行う。
- ・宣伝活動を行うなど集客につながる方法を検討する。



花飾り活動



行灯事業



冬のイルミネーション



フラッグ事業



5 事業計画

(2) 商業集積の構築、通りごとの活性化について

目標 商業集積の構築、通りごとの活性化

商業集積の構築、通りごとの活性化

- 1 核となる商業集積をつくる
- 1 通りごとにストーリー性（テーマ）を設定する  
「点（個店）から線（通り）」→「線（通り）から面（街区）」の発想  
(飲食店ストリート、若者ストリート、フラワーロード)

— 飲食店ストリート —

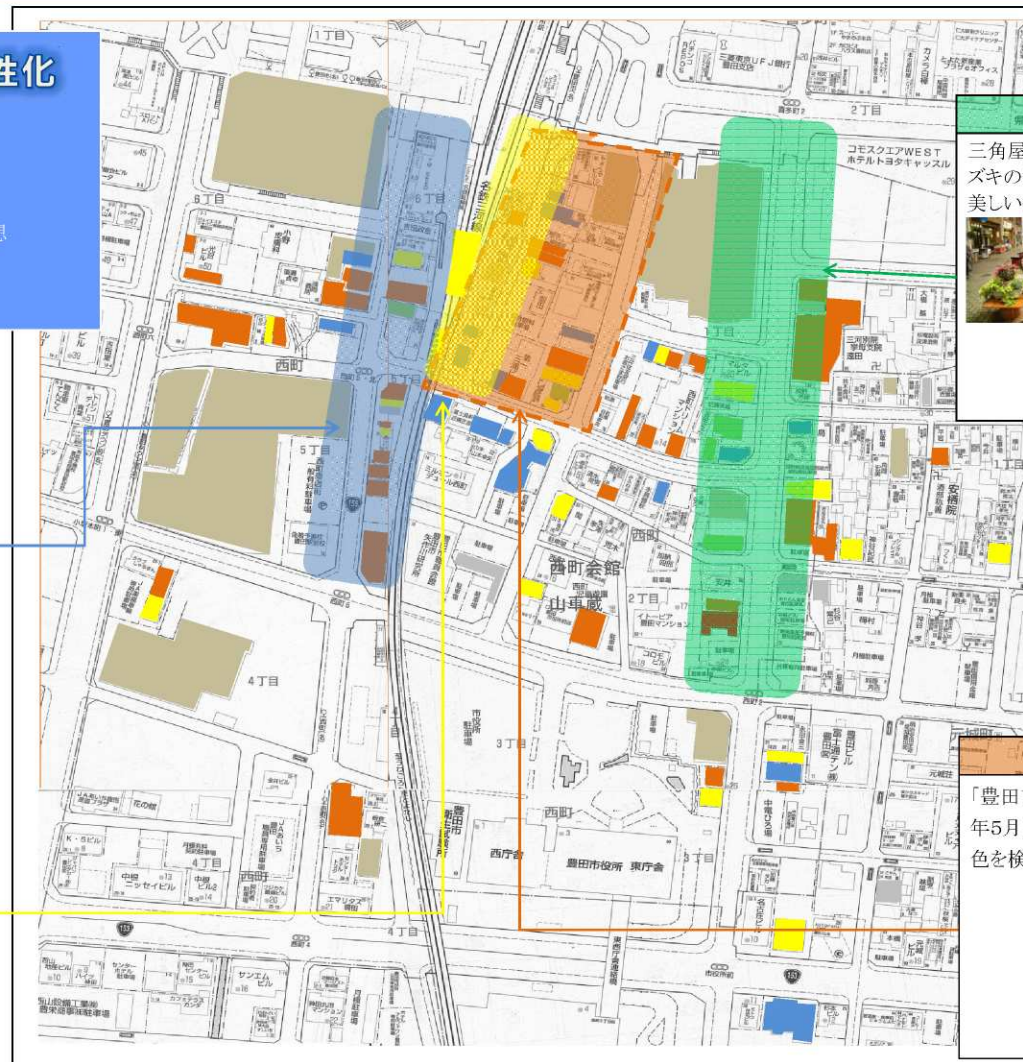
緑陰歩道の雰囲気を活かしながら、既存店舗と、名鉄高架下を豊田の飲食拠点として、発展させる。

イラスト 豊田市中心市街地基本計画より



— ヤング・カジュアル・ストリート —

新規参入店舗の誘致により豊田の新たなショッピングストリートとして発展を促進する。



— フラワーロード —

三角屋根の建物や整備された道路、ハナミズキの街路樹を活かす。  
美しい街並みは車窓や歩く楽しさを演出



整備予定エリア

「豊田市駅前地区を考える会」が平成20年5月に発足した。整備計画と連動し、特色を検討する。





## 6 事業計画一覧・実施時期・推進体制

目標	事業名	具体的な内容	実施時期	推進体制
個店、商店街の魅力化	① 商店街全体の情報発信	・定期情報誌の発行 ・情報発信ビジョンの設置 ・商店街ホームページの運用	H21:情報ビジョンの設置 H22:定期情報誌の発行	西町商店街
	② 業種別の情報発信や販売促進企画	・西町商店街飲食店イベントの実施 ・業種別情報発信 ・若手店主企画のイベント、情報発信 ・ファッション(衣料品、理美容、エステ)企画	H21:飲食店イベント、情報発信の実施 H22~:他業種も順次実施	西町商店街 (業種別、若手等分科会による運営)
	③ 勉強会、研修会等の開催や参加	・同業種や異業種など、それぞれで勉強会や意見交換会を開催 ・専門家の招へいによるセミナーや他地域商店街の視察を開催 ・組合員個別相談会やアンケート調査の実施 ・市商連の一店逸品運動への参加	H21:勉強会、視察実施	西町商店街 豊田市商店街連盟 豊田市中心市街地活性化協議会 豊田商工会議所
	④ 集客イベントの実施	・ふれ愛フェスタの連動イベント ・産業フェスタの連動イベント ・イルミネーション・年末大売出し 集客や売り上げ拡大を目指し、既存イベントの見直しを行う	実施中	西町商店街 豊田市商店街連盟 豊田市中心市街地活性化協議会 豊田商工会議所
	⑤ 個店の魅力向上	・業態転換・経営革新店舗の輩出 ・空き店舗活用システムの検討(新規出店者の推薦基準、継続営業のための支援策など)	実施中 ※H21:空き店舗システムの検討	西町商店街 豊田市商店街連盟 豊田市 豊田市中心市街地活性化協議会
	⑥ 商店街ブランドの強化	開発した商店街キャラクター、商品の普及活動	実施中	西町商店街
地域と一体になった商店街づくり	① 防犯カメラ	維持管理		
	② AED	維持管理、小児パットの増設	H21:小児パットの増設	西町商店街 二区西部自治区
	③ 街路灯	維持管理	H21~:維持管理実施	豊田警察署 豊田市
	④ 商店街駐車場	・駐車場利用促進、売上拡大による商店街収入の確保 ・維持管理		
	⑤ 商店街地域住民共同活動	花飾り、夏の行灯、冬のイルミネーション、フラッグ、清掃、防犯活動の継続実施 ・自治区等地域の様々な団体の参加を募り、サポーターづくりを行う ・活動内容の情報発信の強化(集客につながる方法を検討)	H21:活動参加団体などサポーターの募集 H22:サポーターとの連携活動実施	西町商店街 二区西部自治区 そのほか団体、学生など参加を募る
	⑥ こども119番協力店への参加促進	豊田市商店街連盟の「こども119番」に引き続き参加する	実施中	豊田市商店街連盟に協力
商業集積の構築	① ヤングカジュアルストリートの構築	・ヤングファッション・雑貨の店舗導入により、ヤングカジュアル店舗の商業集積構築 ※【目標 個店、商店街の魅力化】の⑤業態転換や取扱商品の見直し事業⑥個店の魅力向上と連動	実施中	西町商店街 豊田市中心市街地活性化協議会(TCCM)
	② フラワーロードの構築	沿線・店舗に花飾り・フラワーボットを設置し、季節感・歩く楽しさを演出する ※【目標 地域と一体になった商店街づくり】⑤商店街地域住民共同活動事業と連動	実施中	西町商店街 二区西部自治区 豊田市中心市街地活性化協議会(TCCM)
	③ 飲食店ストリートの構築[協力事業]	名鉄高架下、TM-SEEDを活用した、飲食店の集積の構築(地権者の話し合いと連動) ※【目標 個店、商店街の魅力化】②業種別の情報発信や販売促進企画(飲食店企画)と連動	地権者の会の連携に合わせる	事業地権者主体、商店街は協力事業
	④ 豊田市駅前地区の構築[協力事業]	豊田市駅前地区を考える会による駅前地区の将来の姿を考える(豊田市駅前地区を考える会と連動)	〃	駅前地区を考える会主体、商店街は協力事業